

## ユーザプロフィール

(株)ナルミヤ・インターナショナル  
http://www.narumiya-net.co.jp/

本社所在地：東京都港区芝公園2-4-1  
芝パークビルB館9階

T E L：03-6430-9100(代表)

設 立：1995年8月

資 本 金：9億2,055万円

従 業 員 数：1,144名(2014年2月28日現在)



(株)ナルミヤ・インターナショナル  
情報システム部 部長  
田代 晃氏

## 業務システムのリニューアルを短期間に実現し、運用費用も削減

株式会社ナルミヤ・インターナショナルは、子供・ジュニア向けアパレル会社です。「世界中の子供たちに夢を」という経営理念のもと、自社ブランドを中心に、国内の百貨店並びにショッピングセンター、アウトレットに直営店舗を 600 店以上出店しています。さらには実店舗のみならず EC サイトも展開し、多岐にわたる事業展開を行っています。

### 導入の背景

2009 年頃まで、店舗での仕入、販売、売上管理などの本社とのやりとりは全て紙伝票で行っていました。その為、店舗での仕入や売上を迅速に把握する事が難しく、店舗スタッフの業務効率もあまり良くありませんでした。また、本社スタッフはパッケージをカスタマイズした、クライアントサーバ型のシステムを利用していましたが、運用面で利用しづらいなどの声が上がっていました。ちょうどその頃、社内で IT 部門も立ち上がり、利用していたシステムのアップデートなどメンテナンスコストも高いことから、新システムの開発を行うきっかけとなりました。

### ColdFusion を採用したポイント

新システムの開発にあたり、全国にある各店舗や物流拠点へ展開する際、導入作業やメンテナンス効率が良く、柔軟性の高いシステムの導入が前提となりました。その為従来のクライアントサーバ型のシステムでは限界が有り、Web ブラウザで利用できるシステムが必要でした。その際、先行して売上分析システムに ColdFusion を導入していたリアルプロジェクト社の野村氏から、他社の業務システムでの利用実績が多いこと、短い納期を遵守する必要がある事をふまえ、ColdFusion を提案されました。もともと ColdFusion については知識もなく、提示されたスケジュールが移行期間を含め 1 年半程度と余りにも短期間だったため、そのような短期間で開発が可能なのか不安がありました。その後、ColdFusion は自社社員でもコーディングが可能で有る事と、それにより運用費用を削減出来ると判断し、リアルプロジェクト社に開発を依頼しました。

### 導入効果(システム全体)

当初、提示されたスケジュールでのサービス開始は難しいのではないかと考えていたのですが、何と 1 年足らずで業務システムとしてサービスが開始できました。まさか、このような短期間で移行できるとは思いもよらず驚きました。システムの導入により、これまで紙伝票で業務を行っていた店舗スタッフの負担も軽減され、販売、売上管理業務が Web ブラウザで一気通貫で出来るようになりました。また、その管理データを活用して売上分析と連携する事で、経営判断を迅速化する事ができました。当初公開範囲を限定していた分析データも、販売計画等を決定するマーチャンダイジングへ公開範囲を広げて行きました。その結果、彼らの行動が変わって行きました。

システム開発が完了してからは、これまで紙で業務を行っていたスタッフに対して、パソコンでの業務に必要なマニュアルの作成や操作教育等、システム開発以外の部分に予想以上に時間が掛りました。しかし、システム開発の完了が想定よりも早く、社員への教育にも十分な時間を割くことができました。

## 導入効果(ColdFusion)

ここまで短期間に業務システムが構築出来るとは想像していませんでした。HTML ベースでコーディング出来るシステムですので、社内の SE も容易に習得できメンテナンス工数が削減されました。利用メニューや閲覧範囲などのユーザー管理も簡単に行うことができるのも ColdFusion のメリットの一つでした。

また、国内外の物流に関する業務が ColdFusion により自動化する事が出来ました。これまでは、手作業でアクセスからデータ抽出し、出力データをメールで送信していましたが、それを、ワークフローや cfmail タグを利用し、データ抽出から相手先へのメールによる出入荷データ送信を自動で実施できるようになりました。そして、倉庫での検品時のハンディターミナルと ColdFusion を連携させ、検品データのリアルタイムな登録も実現し、検品データ漏れが減少しました。

## 今後の予定

初めての Web アプリケーションを展開しましたので、ブラウザ表示の問題とそのメンテナンスがポイントになると思っています。推奨するブラウザ以外にも、店舗ではタブレットを導入して基幹システムを利用していますが、ブラウザのバージョンが上がった際の運用にどれだけ負荷が掛るか心配です。このシステムでは一部の仕組みでエクセルも利用していますが、互換性の問題はこちらも同様です。

文中の会社名、商品名は各社の商標および商標登録です。



株式会社サムライズ

〒141-0032 東京都品川区大崎1-6-4 新大崎勸業ビル10F

TEL 03-5436-2042 FAX 03-5436-2041

URL <http://www.samuraiz.co.jp> E-Mail [adobe\\_software@samuraiz.co.jp](mailto:adobe_software@samuraiz.co.jp)